

令和3年8月27日
令和3年度第2回
教育・保育部会提出資料

「幼児教育の理解の推進」に関する今後の進め方（案）

1. 教育・保育部会（R3.2開催）における主なご意見（別添【参考1】）と対応方針

（1）リード文について

○より簡潔に分かりやすく

○見る方の興味応じて情報の階層を分けてはどうか

- ・トップページには利用ガイドコラム記事（別添【参考2】）掲載
- ・詳細（2月部会提出資料：別添【参考3】のイメージ）版についてはトップページからリンクを貼り、階層を分けて掲載

（2）発信の工夫

○視覚でも訴求できるように

○動画で説明できたらよい

- ホームページ上に事例の説明動画を掲載
（園長・保育士による取り組みの説明）

（3）こどもの年齢による違い

○乳児と幼児で「遊び」の内容が大きく異なる

- ホームページ上に乳児・幼児両方の事例を掲載

2. スケジュール（案）

9月 掲載事例依頼

10月 掲載事例〆切・動画撮影

年内 ホームページ（案）作成

年度内 ホームページ完成

令和3年2月 教育・保育部会における主な意見

【読みやすさ】

- ・専門用語的な言葉もあるので、簡潔に、解りやすく。
- ・一般の方が読まれると、ちょっとしんどいかなという点は否めない。もう少し簡潔にという考え方もある。
- ・見ただけでわかるというようなものがあつたほうがいい。
- ・この文章をHPでみると、恐らくちょっと圧倒されて、しんどくなるかなと思う。
- ・この文章の内容自体は大事だが全部読み切るのにやはり工夫がいるだろうなど。短くするのか、端的にするのか。
- ・この文案がちょっと固いのかなと思った。

【内容（「予想外の事態を乗り越えながら」の部分）】

- ・「どのような困難な時代でも…」という部分からの段落について、これが理想の状態かもしれないが、保護者の方への心理的な負担につながらないか
- ・「自分は結構いいやつだと思えて」という言い回しが「自分自身や周りの人のよさを認めることができて」ぐらいでとどめては。
- ・我々は阪神・淡路大震災という未曾有の体験をした。このコロナもそうだと思うが、こういうときに力強く生きていくんだというようなことは、人間が一生幸せに暮らしていくための必要な視点だとは思ふ。「予想外の事態を乗り越えながら……」という表現は何らかの形で残したほうがいい。
- ・「予想外の事態……」の下りだが、これは超スーパーマンみたいな人だと思う。これを押しつけられたら、「もう無理だ」みたいな感じになると思う。

【内容（その他）】

- ・「乳幼児教育」という文言で一括りにしていただきたい
- ・「遊び」が大事なんだということは絶対重要。
- ・「鬼ごっこ」の例はすごいわかりやすいなと思った。そういうのを絵みたいな感じでやられたら、すごいわかりやすいかなと思った。
- ・「乳幼児期」と一つにくくってあるが、「乳児」と「幼児」では遊びの内容が全然違う。

【見せ方】

- 幼稚園や保育園に通っている方へのお知らせの仕方も工夫が必要。
- 何段階かに情報を分けて、最初のページで見えるもの、そこからクリックして見たい人はどんどん進んでいけるような、そういうつくりにしてもらうといい。
- キャラクターであったりとか、端的に視覚から入るような形で何かあわせられると、今のママたちも見ることかなと思う。
- 「キャラクター」はいい。これも動画で流れたら一番いいのかなと思う。• ママフレに、例えば「ママフレ君」みたいな、お母さんを応援するようなキャラクターで、パッとママフレを開けたら「頑張ってますか」とか、「お母さん、いつも頑張ってるねえ」というような優しい言葉で語りかけてくれるとか。「ママフレ君」の口を通して、情報発信してはどうか。

乳幼児にとって「遊び」こそが大切な「学び」

世の中が大きく変化する時代、「子どもたちがたくましく幸せに生きていってほしい」というのは、私たち大人の願い。乳幼児期の教育・保育では、子どもたちが現在（いま）を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために、「遊ぶ」ことを大切にしています。



子どもたちの大好きな鬼ごっこ。走りながら「腕を振ったら早く走れるかも」「急には止まれない」と体を動かすためのいろいろなことに気づき（①知識や技能の基礎）、「どっちに逃げたらいい?」「○○ちゃんなら捕まえられそう」と考えます（②思考力、判断力、表現力などの基礎）。そして、友だちと楽しく遊びを続けるために、我慢することや主張すること、譲ることを知ります（③学びに向かう力、人間性など）。

乳幼児にとっては、「遊び」こそが、この時期にふさわしい「学び」です。神戸市の各園では、「遊び」を通じた取り組みを実践しています。



※①～③は乳幼児期の教育・保育で身に付けてほしいとされる3つの資質能力で、小学校～高等学校までの学習指導要領においても中心とされているものです。

問合せ先

制度についてご不明な点は
神戸市行政事務センター ☎078-291-5952
手続きなどに関しては「自動案内システム」もご利用ください。
https://secure.okbiz.okwave.jp/howcom/2/?site_domain=kobe_chat



神戸市 HP

GIS（神戸市保育施設情報）の紹介ページはこちら



令和3年度 施設一覧のページはこちら
http://www.city.kobe.lg.jp/child/grow/shinseido/index02_02.html



無償化 HP

神戸市幼児教育・保育無償化サポート WEB
<https://kobe-kodomo-mushou.jp/>



ママフレ HP

子育て応援サイト「ママフレ」では、
子育て支援に関するサービスを紹介しています。
神戸市 ママフレ 検索 <http://kobe-city.mamafre.jp/>



【参考2】

利用ガイド コラム

0～5歳

幼稚園・保育所・ 認定こども園等 利用ガイド

令和4年度 入園・入所希望の方向け

目次

1. どんな施設があるの? P1
2. 幼稚園・保育所などに入るには? P3
3. どうやって申し込むの? P5
4. 入園・入所手続きのスケジュール P7
5. どんな書類が届くの? P8
6. 利用するにはいくらかかるの? P9
7. Q&A P11
8. 充実した子育てサポート P13



神戸市

幼児教育の理解の推進（遊びの重要性）【案】

○情報発信の方法（案）

- ・市ホームページ内に新たなページを開設
- ・子育て世帯向けポータルサイト「ママフレ」のお知らせ記事、パンフレット「幼稚園・保育所・認定こども園利用ガイド」コラム記事からの誘導を図る

○市ホームページの構成（イメージ）

- ・幼児教育における「遊び」の重要性について説明（別紙案）
- ・事例紹介（3～4事例）
タイトル／ねらい／概要説明／写真（2点）など

タイトル（乳幼児期の教育・保育について）	
説明文	
●事例の紹介	
・○○遊び	
・○○遊び	
●事例1（○○遊び）	写真1
・ねらい	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
・内容	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	写真2

乳幼児期の教育・保育について

「乳幼児期における教育・保育」は、子どもの自由さを基盤とした自発的かつ主体的な活動である「遊び」から得た様々な経験を通じて生きる力の基礎を培うことを目的としています。「遊び」こそが、この時期の「学び」であり「学習」なのです。

そして、「遊び」が、この時期の成長にふさわしい「学び」を獲得するのに最も効果的な活動だということは、世界中の共通認識であり、当然日本においても、乳幼児期は「遊び」が「学習」であるということ、そして、「乳幼児期の教育・保育」は、“「遊び」を通しての指導を中心に行う”こと、とされています。

親の願いは、我が子が一生幸せでいてほしいというものです。そのためにどういう教育を、どういう習い事を、と悩まれていることでしょうか。これからの時代をどのように生きていてほしいのか、それを考えることが「乳幼児期における教育・保育」を考えることにつながります。

今や、感染症や災害など、どのような困難が起こるかわからない時代です。神戸市においても、阪神淡路大震災という未曾有の経験があります。一方でAIやIoT等のデジタル革新において、今ある仕事のほとんどがコンピューターに奪われてしまう未来がやってくるともいわれています。ここ数年でも世の中は大きく変化し、想像もしなかった時代が訪れています。これからの「乳幼児期における教育・保育」を考える上では、この予測不可能な時代に子どもたちにどのような力を培えば、幸せに生きていくことができるのか？ということがとても大切な視点です。

どのような困難な時代でも、前向きな喜びを見出し、生まれてきてよかったと思える人、例えば大きな災害があっても、人に助けを求め、人を助けることに喜びを見出せる人、自分の欠点も知りつつ、自分は結構いいやつだと思えて、周りの人の良さを認めることができ、人とつながることを喜べる人、そうやって笑顔で生き抜いていける人にこそ育てほしいと思いませんか？私たちは、「予想外の事態を乗り越えながら、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりに貢献していくことができる人」を育みたいと考えています。

そのように生きていくための「生きる力の基礎」を子どもたちが身につけるために、日本の「乳幼児期における教育・保育」の中では育みたい資質・能力として、以下の3つのことがあげられています。

- ① 「知識及び技能の基礎」
- ② 「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- ③ 「学びに向かう力・人間性等」

この3つの資質・能力を「遊び」を通して身につけられるように、日々取り組みを行っています。

簡単な例をあげると、友だちと鬼ごっこをしながら、走り方などの①を身につけ、どう逃げたらいいのか、右に行くか、左に行くか、止まるかなどを考えながら②を身につけ、鬼に

なってしまってもなれなくても、思うようにならないことを我慢して、遊び続けたら楽しかったり、友だちと協力し合ったり、友だちの良さや自分の良さに気づくことを通して③を身につけていきます。

日常の乳幼児教育・保育の現場で、「遊び」の中から、このような資質・能力が総合的に育まれている子どもたちの姿をご覧いただき、一生幸せに生きるための「乳幼児期における教育・保育」とは何かをご理解いただければ、と考えています。